

# 2015

あ い ち  
**食 育**  
い き い き  
レ ポ ー ト

平成27年6月  
愛知県食育推進会議

## はじめに

愛知県では、食育基本法に基づき、県民一人ひとりが食の大切さを理解して、主体的に食育に取り組むための指針として、平成23年5月に第2次愛知県食育推進計画である「あいち食育いきいきプラン2015」を作成しました。

このプランで掲げた「食育の実践による健康で活力のある社会の実現」のために、知事を会長として、学識経験者、教育関係者、保育・社会福祉関係者、医療・保健関係者、農林水産業関係者、食品関連事業・企業関係者、消費者団体関係者等により構成される「愛知県食育推進会議」を中心に、県、市町村、団体、事業者などがそれぞれの役割と特性を生かし、様々に連携・協力しながら継続的な県民運動として食育活動を展開しています。

この度、平成26年度に行われた県内の食育推進の取組の中から、特に①新規性のある取組、②複数の関係者が連携して行った取組、③代表的な取組をレポートとして取りまとめました。

本書が皆さんの食育活動の幅を広め、それぞれの地域に合った食育推進の一助となれば幸いです。

# 目次

I 「あいち食育いきいきプラン2015」について .....	1
II 主な取組の状況	
1 食を通じて健康な体をつくるために .....	3
2 食を通じて豊かな心を育むために .....	14
3 食を通じて環境に優しい暮らしを築くために.....	22
4 食育を支える取組 .....	28

## マークの説明



は、健康な体



は、環境に優しい暮らし



は、豊かな心



は、食育を支える取組

を表現しています。

# 主な取組の状況

## 1 食を通じて健康な体をつくるために



### (1) バランスのとれた規則正しい食生活の実践

- ◆ ①食育指導 ②給食試食会 ③日本味めぐり

[蟹江町、蟹江町立保育所、蟹江町給食センター] …………… 3

◆ 食育体験ツアー [西尾市] …………… 4

◆ マテバシイせんべい作り [みよし市立三吉小学校] …………… 4

◆ のびのび子ども塾「野菜クイズ・栄養カルタ」[大治町保健推進員 栄養グループ] …… 5

◆ 平成 26 年度 学校給食教室 [公益財団法人愛知県学校給食会] …………… 5

◆ 男子！自立クッキング [愛西市食育推進専門部会] …………… 6

◆ まんずまんずクッキング [岩倉市、食生活改善推進員] …………… 6

◆ 青年講座 (バランス・アップ) [刈谷市] …………… 7

◆ 妊婦さんの栄養教室 [安城市] …………… 7

◆ 健食健口 (けんしょくけんこう) 教室[愛西市地域包括支援センター] …………… 8

◆ 介護食教室 [西尾市] …………… 8

### (2) 生活習慣病や過度な痩身等の予防

◆ よくかんで 食べ過ぎを防ごう！ [半田市立宮池幼稚園 (国公立幼稚園長会)] ……… 9

◆ 「お口の体操 1. 2. 3」『しっかり歯磨き』[豊根村立杉の子保育園] …………… 10

◆ 特定給食施設巡回指導 [愛知県] …………… 10

◆ 健康公開講座「食事のバランス～野菜の効用とおいしく・たくさん食べる方法～」

[公益財団法人 愛知県健康づくり振興事業団] …………… 11

◆ 糖尿病予防プチ講座 [碧南市] …………… 11

### (3) 食の安全に関する信頼の構築

◆ 高校生向けの食品表示研修会の実施 [愛知県] …………… 12

◆ 現地見学型リスクコミュニケーション

[コカ・コーライーストジャパンプロダクツ株式会社 東海工場、愛知県] …………… 12

- ◆ 自主衛生管理相談員研修会〔一般社団法人食品衛生協会、愛知県〕…………… 13
- ◆ 福祉医療公開講座「介護と食」〔一般社団法人 愛知県薬剤師会〕…………… 13

## 2 食を通じて豊かな心を育むために



### (1) 食を楽しむゆとりの確保

- ◆ トマトを使った食育〔東海市学校給食センター〕…………… 14
- ◆ 「調理員さんありがとう」一緒に食べようふれあい給食  
〔碧南市立大浜幼稚園（愛知県国公立幼稚園長会）〕…………… 14
- ◆ 愛知県内一斉ノー残業デーの実施〔愛知県〕…………… 15
- ◆ 食から広がるつながり&健康〔共同料理なごやか（愛知淑徳大学）〕…………… 15

### (2) 体験や交流を通じた食の理解促進

- ◆ 子育て応援団 チュウキョウ〜くんのすこやかフェスタ  
〔公益社団法人愛知県栄養士会〕…………… 16
- ◆ カレーライスプロジェクト〔社会福祉法人 八開福祉会丸島保育園〕…………… 16
- ◆ 愛西市アグリぐるぐるスクール〔愛西市農畜産業振興会〕…………… 17
- ◆ 小学生とお父さんのためのいいとも半田！料理教室  
〔半田市食生活改善推進員連絡協議会〕…………… 17
- ◆ おおぶで食活（たべかつ）食農入門講座〔大府市〕…………… 18
- ◆ 地引網体験ツアー〔西尾市〕…………… 18

### (3) 食文化や食事作法等の理解と継承

- ◆ こどもの健康教室〔春日井市〕…………… 19
- ◆ 誕生会のおやつはお楽しみ〔知多市立梅が丘幼稚園（愛知県国公立幼稚園長会）〕…………… 19
- ◆ 柿パンの実施〔豊橋市〕…………… 20
- ◆ ふれあい給食「愛知を食べる学校給食の日」〔尾張旭市学校給食センター〕…………… 20
- ◆ 食育クッキング〔稲沢市健康づくり食生活改善協議会〕…………… 21
- ◆ 弥富市4Hクラブ もちつき会〔弥富市4Hクラブ〕…………… 21

### 3 食を通じて環境に優しい暮らしを築くために



#### (1) 食生活における「もったいない」意識の浸透と実践

- ◆ 「もったいないばあさんがこないよ 大作戦！」

[安城市立安城幼稚園（愛知県国公立幼稚園長会）] …… 22

- ◆ さつま汁パーティー [知多市立東部幼稚園（愛知県国公立幼稚園長会）] …… 22

- ◆ パパと作ろう！ エコ・クッキング講座 [刈谷市] …… 23

#### (2) 農林水産業への理解と地産地消の一層の促進

- ◆ JA あいち中央榎前環境保全会生きもの観察会 [生活協同組合コープあいち] …… 24

- ◆ 「魚食の伝道師」派遣による出前授業 [愛知県] …… 24

- ◆ 生産者と児童生徒の交流 [大治町内小中学校] …… 25

- ◆ 茶懐石のたしなみ方 [西尾市] …… 25

- ◆ 大学生を対象としたファーマーズマーケットツアー [JA 愛知中央会] …… 26

- ◆ 食農教育推進事業

[豊橋田原広域農業推進会議（豊橋市・田原市・JA 豊橋・JA 愛知みなみ）] …… 26

#### (3) 農林水産業や食品産業における環境への配慮の徹底

- ◆ G A P（農業生産工程管理）手法の導入などによる環境に配慮した取組 [愛知県] …… 27

### 4 食育を支える取組



#### (1) 食育にかかる人材の育成と活動の充実

- ◆ 愛知の郷土料理講習会 [公益財団法人愛知県学校給食会] …… 28

- ◆ 食育講演会 [愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会] …… 28

- ◆ 食育推進ボランティアの登録 [岩倉市、食生活改善推進員] …… 29

- ◆ 輝きネット・あいち技人認定式及び研修会 [農村輝きネット・あいち] …… 29

- ◆ 【子どもに食べてほしいおむすび】レシピ募集 [高浜市こども食育推進協議会] …… 30

- ◆ 食育教材の開発（プレゼンテーション資料）

[愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会] …… 30

#### (2) 関係者の役割分担とネットワークの充実

- ◆ 地域食育推進支援会議の開催 [愛知県] …… 31

- ◆ 連携して実施 みんなで楽しく食育を学ぼう！ [愛知県] …… 31

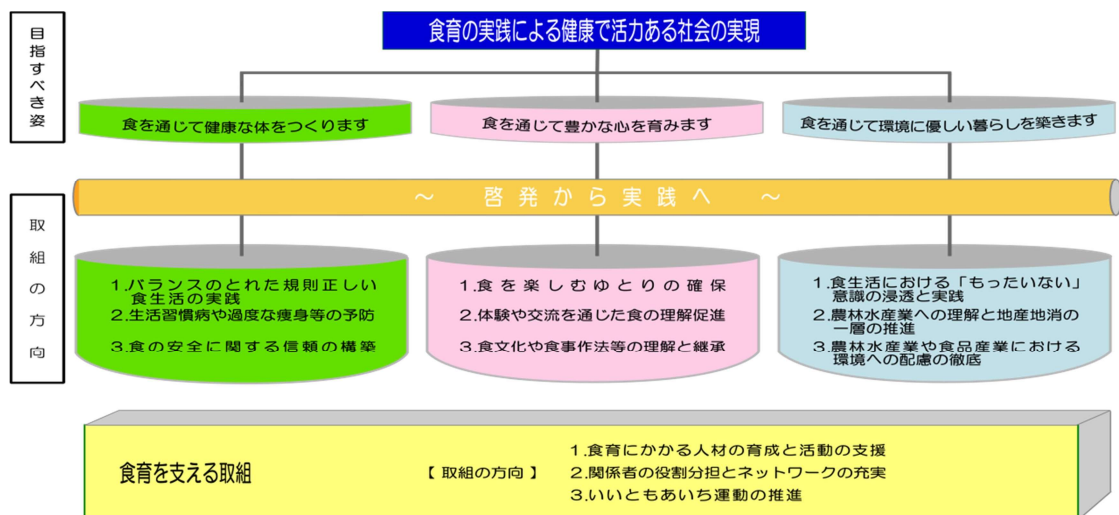
◆ 水産物の食べ方に関する情報の発信 [愛知県] .....	32
(3) いいともあいち運動の推進	
◆ いいともあいち運動シンボルマークの貼付促進 [愛知県] .....	33
◆ 地産地消・農商工連携ビジネスフェアの開催 [愛知県] .....	33
◆ 地産地消弁当「岡弁」の販売 [岡崎市] .....	34
◆ いいともあいちあいちフェア [あいち食育サポート企業団] .....	34

# I 「あいち食育いきいきプラン2015」について

「あいち食育いきいきプラン2015」（第2次愛知県食育推進計画）は、食育基本法に基づき、愛知県食育推進会議が第1次食育推進計画である「あいち食育いきいきプラン」の基本理念や成果を継承しつつ、更に食育を推進するための、次のステップとして平成23年5月に作成したものです。

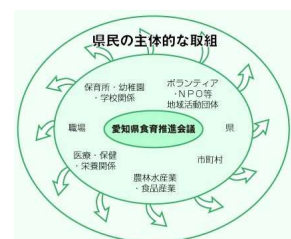
## 1 目指すべき姿と基本コンセプト

- このプランでは、前プランからの本県の特色である「体」、「心」、「環境」に着目した食育を継承することにより、健康で活力ある社会の実現を目指しています。
- 規則正しい食生活の実践などにより「健康な体をつくる」ことはもとより、感謝の気持ちや食を大切に作る心といった「豊かな心を育む」こと、食べ残しや食品の廃棄量を減らすなどの「環境に優しい暮らしを築く」ことを基本としています。
- 前プランの様々な取組により高まった県民の関心をさらに高めるとともに、次のステップとして、「啓発から実践へ」を基本コンセプトとし、県民一人ひとりの食育の実践を関係者が支援して、県民が主体的に実践する取組へとつなげていきます。



## 2 取組の特徴

- あらゆる世代の県民が生涯にわたって健全な食生活を送るためには、生涯を通じた中断のない食育が重要です。このため、乳幼児から高齢者に至るまで、ライフステージと生活場面に応じた切れ目ない食育を進めています。
- また、食育に関する取組の実効性を高めるため、様々な関係者が、その役割と特性を生かしつつ、密接に連携・協力して、県民運動として食育を展開しています。





### 3 県や関係団体等の取組

食育の推進について、県や関係団体等は、あいちの食育が目指す3つの方向に則して、ライフステージと生活場面に応じ、それぞれの役割と特性を生かしつつ連携・協力して、継続的に情報提供や実践促進活動を行っています。

以下では、取組を働きかける生活場面を下記のとおり表示

#### ■取組の体系

		保幼 保育所・幼稚園		職場 勤務先		学校 小学校～大学		地域 その他の場所		
		保幼	学校	職場	地域	保幼	学校	職場	地域	
食を通して健康な体をつくるために	バランスのとれた規則正しい食生活の実践	ア 乳幼児期における基本的な食習慣の確立	●			●				
		イ 学校における小中学生への食に関する指導の充実		●						
		ウ 小中学生の食育のための家庭への支援		●					●	
		エ 高校における食育の充実		●						
		オ 青年期以降における健全な食生活の実践の支援		●	●				●	
		カ 「妊産婦のための食生活指針」の推進								●
		キ 高齢期における食による健康維持の推進								●
	生活習慣病や過度な痩身等の予防	ア 子どもの肥満予防等の推進	●	●						
		イ 歯の大切さについての子どもへの啓発活動の推進	●	●						
ウ 思春期からの過度な痩身の予防対策			●							
エ 職場での健康診断等に基づく食生活改善の推進				●						
オ 地域における健康づくりの推進								●		
食の安全に関する信頼の構築	ア 食品表示の適正化の推進								●	
	イ 食の安全に関する情報提供や意見交換		●						●	
	ウ 安全に関する自主管理と情報開示の促進								●	
	エ 食品と医薬品との相互作用に対する普及啓発								●	
食を楽しむゆとりの確保	ア 給食や弁当を通じた豊かな人間性の育成	●	●							
	イ “おうちでごはんの日”の実践促進			●					●	
	ウ 高齢者の孤食対策等								●	
体験や交流を通じた食の理解促進	ア 乳幼児期における食とのふれあい機会の確保	●							●	
	イ 少年期における食に関する体験等の充実		●						●	
	ウ 幅広い層に向けた体験・交流の機会の提供								●	
食文化や食事作法等の理解と継承	ア 子どもに対する食事作法の習得や食の多様性の理解	●	●						●	
	イ 給食における地産産物や郷土料理等の導入促進	●	●						●	
	ウ 伝統料理、郷土料理等の提供促進と継承		●	●					●	
	エ 高齢者による食事作法や食文化の地域内継承								●	
食生活における「もったいない」意識の浸透と実践	ア 子どもに対する環境負荷軽減の学習	●	●						●	
	イ 環境に配慮した食生活の実践								●	
	ウ 外食時における食べ残し減量策の促進								●	
農林水産業への理解と地産地消の一層の推進	ア 生物多様性の保全など農林水産業の役割への理解促進		●						●	
	イ 子どもに対する地産地消の理解と利用の促進		●						●	
	ウ 青年期以降における地産地消の実践		●	●					●	
エ 生産者と消費者の思いを伝える農林水産業の実現								●		
農林水産業や食品産業における環境への配慮の徹底	ア 農林水産業における環境への配慮とバイオマスの利活用								●	
	イ 食品関連事業者における食品廃棄物の削減								●	
	ウ フードバンク活動の普及啓発								●	
食育にかかる人材の育成と活動の充実	ア 保育・教育機関における推進体制の充実	●	●							
	イ 社会人を対象とした推進体制の充実			●					●	
	ウ 愛知県食育推進ボランティアの育成と活動の充実								●	
	エ 食育に係る多様な人材の育成と活動の促進								●	
	オ 食育推進資材の作成や調査・検定の実施								●	
関係者の役割分担とネットワークの充実	ア 地域食育推進支援会議の開催								●	
	イ 地域の活動主体同士の連携企画の促進		●						●	
	ウ 既存のネットワークを活用した関係者間の情報共有								●	
	エ 食育に関する情報発信の充実								●	
いいともあいち運動の推進	ア 運動の認知度の向上								●	
	イ 協働活動の充実								●	
	ウ 県産農林水産物の利用拡大								●	

## Ⅱ 主な取組の状況

### 1 食を通じて健康な体をつくるために



幼児期から高齢期にいたるまでライフステージに応じた「バランスのとれた規則正しい食生活の実践」、子どもの肥満予防や思春期からの過度な痩身の予防、職場等での健康指導など「生活習慣病や過度な痩身等の予防」、及び「食の安全に関する信頼の構築」に取り組みました。

#### (1) バランスのとれた規則正しい食生活の実践

栄養バランスのとれた規則正しい食習慣を身につけることは、健康な体を作るための基本であり、各ライフステージでバランスのとれた規則正しい食生活の実践に取り組みました。

#### ①食育指導 ②給食試食会 ③日本味めぐり

蟹江町、蟹江町立保育所、蟹江町給食センター

●実施時期：①平成26年5、6月のうち6日間 ②平成26年6月26日 ③月1回

●対象者：①年長児童 ②児童保護者 ③給食喫食児童生徒

#### ●内容

- ① 年長児童を対象に、当日献立が箸の日に、給食前に箸の持ち方を全員で練習。その後、給食中に、当日の献立のポイントと地産地消、残さず食べることなどを指導します。また、年長組保護者に指導内容を資料を配布しました。
- ② 在所児童保護者を対象に、試食会を実施。施設の概要や、幼児食の要点をお話ししました。また、今年度は愛知県が野菜摂取量ワースト1ということから、簡単に野菜が摂取できる献立も紹介しました。
- ③ 月一回、小中学校と同一献立で各都道府県の郷土料理を提供。



#### ●活動の成果、今後の課題

箸の持ち方が定着する時期に、正しい箸の持ち方を練習する機会を作り、ご家庭でも練習していただくきっかけを作りました。

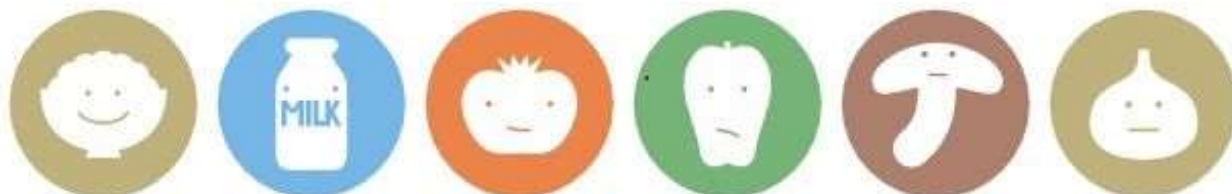
試食会でも箸の指導等を実施していることをお知らせすることで、幼児食に必要な栄養の面、作法の面等を意識していただきました。

また、学校と連携し、日本の伝統料理を味わい、古きよき日本を再確認しました。



〈取組項目：乳幼児期における基本的な食習慣の確立〉

〈取組場面：保幼〉



●実施時期：平成26年6月26日 ●対象者：伊文保育園 年長児

### ●内容

市内伊文保育園の年長児41名を対象に、市内のヴェルサウォーク西尾において、見て、触って、楽しく学べるプログラムとして、食育についての基礎学習とスーパーマーケットの店内に並んだ野菜や果物に触れながら買い物体験などを実施しました。

野菜や果物に直接触れながら興味関心を高め、何でも進んで食べようとする気持ちを育てることを目的とし、食育体験ツアーを実施しました。



### ●活動の成果、今後の課題

「子どもたちが、野菜や果物に興味を持ち、嫌いだった野菜も食べられるようになった。」「家に帰って、赤黄緑の話がたくさんしてくれた。」などと保護者の方からお話を聞くことができました。

今後はスーパーマーケットまでの交通手段を確保し、離れた園も参加できるようにしていきたいと思えます。



〈取組項目：乳幼児期における基本的な食習慣の確立〉

〈取組場面：保幼〉

## マテバシイせんべい作り

●実施時期：平成26年9月～11月 ●対象者：児童と保護者

### ●内容

みよし市立三吉小学校の校庭に植えられているどんぐり＝マテバシイの木から、毎年秋に児童が実を拾い集め、その実を児童の保護者が材料としてマテバシイせんべいを作り、児童に配布しています。

素材を活かした素朴な味付けで、毎年、児童からも保護者からも大変好評です。

### ●活動の成果、今後の課題

毎年、児童や保護者に大変好評で、児童は校庭に植えられているマテバシイの木から作られているということをきっかけに、食への関心を高めています。また、児童の保護者にとっては、せんべい作りを通じて児童と食について話すきっかけともなっています。



〈取組項目：学校における小中学生への食に関する指導の充実〉

〈取組場面：学校〉

## のびのび子ども塾「野菜クイズ・栄養カルタ」

大治町保健推進員 栄養グループ

●実施時期：平成26年12月4日 ●対象者：小学生（のびのび子ども塾参加者）

### ●内容

野菜の知識を深め、食事の楽しさを伝える機会として、野菜クイズと栄養カルタを行いました。野菜クイズは、町内の野菜について花と食べる部分の写真を見比べて当てるクイズです。栄養カルタは読み札の内容も全て栄養グループの手作りです。少人数で普通サイズのカルタで遊んだあと、全員で大きいサイズのカルタを体育館いっばいに広げて遊びました。



最後に保健師から、手ばかりを用いた1日の野菜摂取量の目安も伝えました。

### ●活動の成果、今後の課題

普段、カットされた野菜しか見ていない子どもたちは、野菜の花や葉を見て興味津々でした。栄養カルタは少人数では輪になって集中して取り組み、全員の大カルタはとても盛り上がりました。

保健推進員による学童への取り組みは始めてで、とても良い機会でした。食育を通して世代間の交流もしていきたいと思います。

〈取組項目：学校における小中学生への食に関する指導の充実〉

〈取組場面：学校、地域〉

## 平成26年度 学校給食教室

公益財団法人愛知県学校給食会

●実施時期：平成26年11月 ●対象者：県内小中学校の児童生徒の保護者

### ●内容

学校給食会では、学校給食を通じ、食の知識を学び、望ましい食習慣を養うことを目指しており、学校給食の理解と食育の発展を図るため、保護者を対象に毎年学校給食教室を開催しています。

今年度も11月に4日間開催し、計201名の保護者が参加されました。内容は、「学校給食の意義と役割」の講義と今年度8月に開催された学校給食献立コンクール豆部門の最優秀賞献立の調理実習、また「朝食に野菜を食べよう！」をテーマに講話を行いました。



### ●活動の成果、今後の課題

学校給食の意義や学校での食育の取組、調理実習を通して学校給食の実態を保護者の方に理解していただきました。また、栄養教諭による「朝食に野菜を食べよう！」の講話をもとに朝食の大切さや食生活についても学んでいただきました。今後も多くの保護者に参加していただき、学校給食に対して理解を得たいと思います。



〈取組項目：小中学生の食育のための家庭への支援〉

〈取組場面：地域〉

## 男子！自立クッキング

愛西市食育推進専門部会

●実施時期：平成26年11月及び12月の2日間 ●対象者：男子高校生

### ●内容

今後一人暮らしを始めた場合でも、食事の面で自分の健康管理ができる大人を育成するために実施しています。市内にある高校の3年生男子を対象にしており、本年度は45名の参加がありました。

この事業では、参加者である高校生が作った農産物や地元食材を使い調理実習をし、講義で朝食の必要性やバランスのよい食事選びのコツなどを学んでもらいます。地産地消と生活習慣病予防に目を向けられる取り組みとなっています。



### ●活動の成果、今後の課題

生徒の感想として、参加して期待通りだったと約8割が回答、作った料理を家でも作ってみたいと思う生徒は約5割でした。

義務教育を終えた高校生は、将来に向け自己管理能力を身につける大切な時期のため、対象を女子生徒にも広げられると、さらに充実した事業になるのではないかと考えています。

〈取組項目：高校における食育の充実〉

〈取組場面：学校〉

## まんずまんずクッキング

岩倉市、食生活改善推進員

●実施時期：奇数月 第3木曜日 ●対象者：まんずまんずクッキング会員（男性の自主グループ）

### ●内容

岩倉市には、男性だけの料理教室グループ「まんずまんずクッキング」があります。

このグループは、男性が料理を作る楽しさ・面白さを味わいながら、それを他の男性にも伝え、食に興味のある男性同士、交流を深めています。

現在、男性会員数は13名で、年間8回（定例6回、地区活動2回）の活動に管理栄養士や食生活改善推進員が料理講習の支援をしています。



### ●活動の成果、今後の課題

男性向けに旬の野菜を使った簡単料理を紹介し、男性の食への関心を高め、仲間作りにもつながりました。

反面、男性会員の高齢化に伴い、会員数の減少が課題です。

今後もPRに努め、会員数を増やしていく必要があると思います。



〈取組項目：青年期以降における健全な食生活の実践の支援〉

〈取組場面：地域〉

## 青年講座（バランス・アップ）

刈谷市

- 実施時期：平成27年1月～3月 毎週木曜日
- 対象者：市内在住、在勤または在学の18歳～39歳
- 内容

青少年に多様な学習・体験活動の機会を提供し、生涯学習の推進、指導者の養成などを目的として年4回連続講座を行っています。

今回は、心と体のバランスをキープしよう！をテーマに心のバランスを整えるセラピー・ヨガ、体のバランスを整える栄養法や簡単なバランス食の作り方などを組み合わせて講座を開催しました。最初に生活習慣、及び食生活チェック表を用いて現状分析と課題を見つけ、中間チェックを経て最終的にどのくらい改善できたか確認しました。

(11人参加)



- 活動の成果、今後の課題

現在の生活習慣と食生活を、表で見える化した事により、改善策や成果を容易に理解する事ができました。また、個々に合った1日分の食事の適量、食材や調理方法を工夫する事でカロリーを低く抑えられる事などを学ぶ事ができました。

青年講座の一環として行うため、様々な体験の一つとして、食に関する講座を取り入れていきたいと思えます。



〈取組項目：青年期以降における健全な食生活の実践の支援〉

〈取組場面：地域〉

## 妊婦さんの栄養教室

安城市

- 実施時期：通年
- 対象者：市内在住の妊婦及びその家族
- 内容

調理のデモンストレーションの見学とグループワークを行いながらの講義で、妊娠期の栄養バランスのとれた食事についてと、貧血予防について学ぶ教室です。グループワークの後には調理デモで作り方を学んでいただいた献立の試食もしていただけます。妊婦の方に、気軽に楽しく参加していただけるような教室になるように配慮しています。

- 活動の成果、今後の課題

参加者の事後アンケートでは、教室への満足度が「大変満足」と「満足」と回答した方の割合が96.5%という結果になり、教室に参加された方からは良い評価をいただきました。

ただ、教室の参加者の人数が少ない傾向なので、参加者数を増加させるための工夫が必要な状況です。



〈取組項目：「妊産婦のための食生活指針」の推進〉

〈取組場面：地域〉

## 健食健口（けんしょくけんこう）教室

愛西市（地域包括支援センター）

- 実施時期：平成27年9月から3月の間に8回コースを2クール
- 対象者：二次予防事業の対象者把握事業で把握された二次予防事業対象者（介護予防事業における要介護状態・要支援状態にはないが、そのおそれがあると考えられる65歳以上のもの）

### ●内容

低栄養状態にある方、口腔機能の低下がある方を対象に、元気な生活を送るために必要な「食べること」を通じて介護予防を行ないました。管理栄養士による栄養講座や歯科衛生士による口腔ケアなど、仲間と一緒に楽しく学んでいただくことができました。



### ●活動の成果、今後の課題

地産地消を考慮したメニューの提案を行い、身近な素材を使用した簡単料理を紹介したことにより、料理に関心を持つ方が増え、バランスのとれた食事に気をつけていただくことができました。

口腔機能の内容（講話や実習）も同日に実施しているため、食事と口腔の働きを理解していただけました。

〈取組項目：高齢期における食による健康維持の推進〉

〈取組場面：地域〉

## 介護食教室

西尾市

- 実施時期：平成26年10月30日
- 対象者：市内在住、在勤者

### ●内容

市内在住の24名が参加し、介護食って難しい？介護食ってどうやって作るの？などの悩みを栄養士の先生に教えていただきながら学びました。

また伊那食品工業の担当者により、介護食に使われる寒天についても学びました。



### ●活動の成果、今後の課題

まだ介護食と関わっていない方、実際に介護食を作っている方など参加者で必要とする内容が違うため、今後はみんなに満足いただける内容を考えなければならないと思います。

また実際に作ってみたいという方が多かったです。

〈取組項目：高齢期における食による健康維持の推進〉

〈取組場面：地域〉



## (2) 生活習慣病や過度な痩身等の予防

生活習慣病を予防するため、若年期からのメタボリックシンドロームや思春期からの過度な痩身について、食生活の改善や歯の大切さなどの食の視点を中心に予防対策を推進しました。

### よくかんで 食べ過ぎを防ごう！

半田市立宮池幼稚園 (愛知県国公立幼稚園長会)

●実施時期：平成 27 年 1 月 15 日

●対象者：幼稚園児 保護者

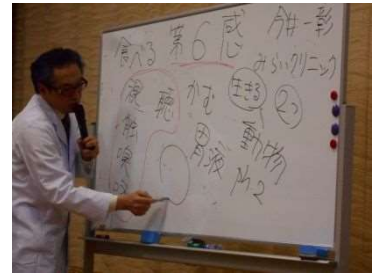
#### ●内容

本園の 4 歳児 (39 名) とその保護者を対象に歯科指導を実施しました。園児には最初に染め出しをし、歯の磨き方を教えてもらいました。

その後、保護者向けに、おやつのととり方、規則正しい食事、寝る前に食べたり飲んだりしない、よくかんで食べることの必要性等について話をさせていただきました。

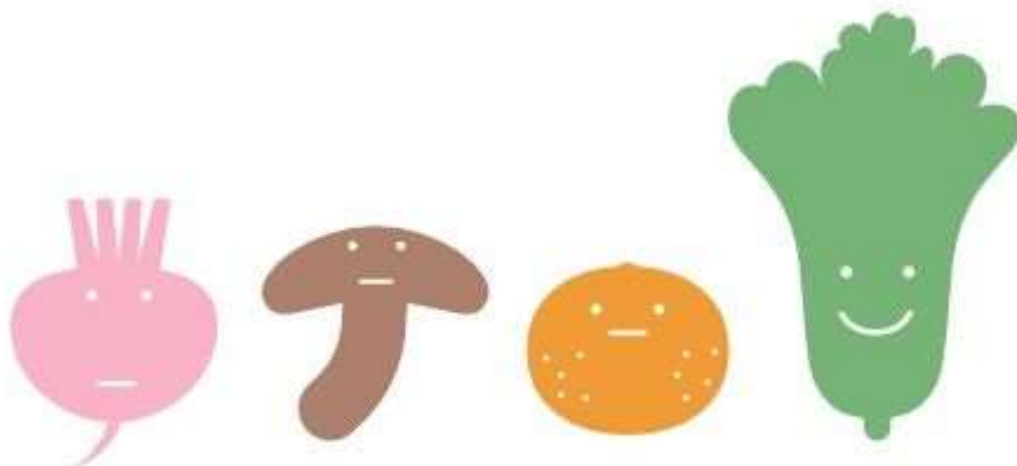
#### ●活動の成果、今後の課題

歯科医から直接歯磨きの指導を受けた後、歯を磨くこと・よくかんで食べることが子どもの生活の自立につながるということを聞き、母親自身が意識して食生活の在り方を考えるよい機会となりました。



(取組項目：子どもの肥満予防等の推進)

(取組場面：保幼)





## 「お口の体操1.2.3」『しっかり歯磨き』

豊根村立杉の子保育園

●実施時期：通年 ●対象者：お口の体操・年長中児 歯磨き・全園児

### ●内容

食べ物を噛めない子・口にちょっとしか食べ物を入れられない子・いつまでも噛んでいて飲み込めない子が多いので、食前に唇・アゴの体操・唾液の分泌などを良くする体操を毎日行っています。

歯磨きについては、3歳未満児は、保育士が全員に仕上げ磨きを行い、3歳以上児は、保育士と一緒に磨いています。週に1回フッ化物洗口も行っています。



### ●活動の成果、今後の課題

個人差があり、成果が見られる子もいますが、見られない子もいます。

何のために体操をするのかを、子供たちにどう伝えていけるか？理解した上で体操がきちんと出来るようにしていきたいと思います。



〈取組項目：歯の大切さについての子どもへの啓発活動の推進〉

〈取組場面：保幼〉

## 特定給食施設巡回指導

愛知県

●実施時期：通年 ●対象者：特定給食施設等

### ●内容

健康増進法に基づき、特定給食施設（特定多数の者に対し継続的に1回100食以上または1日250食以上提供する施設）等に対し、保健所が巡回指導を行っています。

愛知県の20～60歳代男性の約4人に1人が肥満傾向であることから、20～60歳代男性の肥満者の割合の減少を重点目標として、事業所への巡回指導の強化を行いました。

また、食生活の実態把握のためのアンケート調査も行いました。

### ●活動の成果、今後の課題

重点的に指導する対象を決めることで、より効果的な指導を行うことができました。

今後はアンケート調査の結果を分析するとともに、引き続き全保健所で調査を行い、指導等に活かします。



〈取組項目：職場での健康診断等に基づく食生活改善の推進〉

〈取組場面：職場〉

## 健康公開講座

### 「食事のバランス～野菜の効用とおいしく・たくさん食べる方法～」

公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団

●実施時期：平成26年10月11日 ●対象者：一般成人

#### ●内容

あいち健康の森健康科学総合センターでは、生活習慣病の予防に関する県民の意識を高め、実践を促せるよう、年6回の健康公開講座を開催しています。10月は、女子栄養大学・大学院食生態学研究室教授武見ゆかり先生をお招きし、「野菜の効用とおいしくたくさん食べる方法」をテーマに講座を開催しました。

武見先生による野菜摂取の効用や方法、高齢期の食事についての講義後、津下センター長との対談形式で進行しました。



#### ●活動の成果、今後の課題

10月の講座には245人の方にご参加いただきました。

講座後に実施した参加者を対象としたアンケートでは、98.9%が「わかりやすかった」、100%が「参考になった」と回答しています。



〈取組項目：地域における健康づくりの推進〉

〈取組場面：地域〉

## 糖尿病予防プチ講座

碧南市

●実施時期：平成26年5月30日、6月27日、7月24日 ●対象者：市民

#### ●内容

平成26年5～7月に市内在住の血糖値高めの方を対象に3回コースの講座を開き、医師による糖尿病の講話・生活習慣チェック、栄養士による食事療法の講話と糖尿病食の試食、保健師による運動療法の講話、健康運動指導士による運動実践、歯科衛生士による糖尿病と歯周病との関連の講話等を行いました。



#### ●活動の成果、今後の課題

参加者の満足度は高く、生活習慣・食習慣を見直す意欲が見られ、間食や夜食・糖分を含む飲料を控えるなどの改善が見られました。

また肥満傾向の見られる参加者のうち、5割が体重の減量に成功しました。

〈取組項目：地域における健康づくりの推進〉

〈取組場面：地域〉

### (3) 食の安全に関する信頼の構築

食の安全に関する正しい知識と理解を深め、安心して健全な食生活を実践できるよう、食品表示や食品の安全性確保のための対策などについて、情報の提供や意見交換などを行い、食の安全に関する信頼の構築に取り組みました。

#### 高校生向けの食品表示研修会の実施

愛知県

●実施時期：平成27年3月3日 ●対象者：高校生

##### ●内容

愛知県では、県職員が無料で集会などの場に出向き、県政の様々な分野について分かりやすく説明する「県政お届け講座」を行っています。食育推進課では、この取組みの一環として、「知っていますか？正しい食品表示」と題し、豊橋東高等学校の生徒の皆さんに、食品表示に関する講座を実施しました。

講座の中では、写真を利用して、実際の青果店店頭やお菓子の表示状況を示しながら、食品表示に対する理解を深めました。

##### ●活動の成果、今後の課題

普段何気なく見過ごしがちな食品の表示ですが、食品を選ぶにあたって参考となる情報が沢山含まれています。

今後も、食品表示について、理解が深まるような取組みを行いたいと思います。



〈取組項目：食品表示の適正化の推進〉

〈取組場面：学校〉

#### 現地見学型リスクコミュニケーション

コカ・コーライーストジャパンプロダクツ株式会社 東海工場、愛知県

●実施時期：平成26年8月13日 ●対象者：県内在住の親子10組23名

##### ●内容

生活衛生課では食の安全に関する正しい知識を深めてもらうため、親子参加型の工場見学を実施しています。今年度は、県内の製造工場に御協力いただき、飲みものができるまでを見学しました。

ペットボトル入り清涼飲料水等の製造ラインを見学し、食品製造施設が行っている安全な食品を製造するための取組について学習しました。また、官能検査及び手洗いの方法について体験しました。

官能検査は、用意されたジュースがどの製品かをクイズ形式で体験しました。

手洗いの方法では、実際に手を洗い、洗い残しの有無について手洗いチェッカーを用いて確認しました。

##### ●活動の成果、今後の課題

実際に製造現場を見ることで、食に対する知識や理解を深めることができました。また、普段は行わない官能検査や手洗い後のチェックを体験することで、楽しく学ぶことができました。

参加者からは「製造者の苦労がわかった」、「意見交換会で、いろいろな人の質問があり、更に知識が増えて良かった」といった感想をいただきました。



〈取組項目：食の安全に関する情報提供や意見交換〉

〈取組場面：地域〉

## 自主衛生管理相談員研修会

一般社団法人愛知県食品衛生協会、愛知県

●実施時期：平成26年7月8日

●対象者：食品衛生指導員

### ●内容

生活衛生課では、優れた衛生管理システムである HACCP の導入を推進するため、講習会や委託事業を継続的に実施しています。

平成26年度についても、一般社団法人愛知県食品衛生協会に委託している食品衛生相談事業において、食品衛生指導員を対象とした HACCP 研修会の講演依頼があったことから、HACCP の基本的な考え方や HACCP の7原則12手順、危害分析や重要管理点の設定等について説明を行いました。

### ●活動の成果、今後の課題

愛知県では HACCP に基づく工程管理を導入し、一定水準以上の衛生管理が認められた施設に対し、「愛知県 HACCP 導入認定施設」として認定しています。

この研修会では、HACCP システムとは何かという基本的な話から始まり、特に厳重に管理する必要がある工程の決定方法等について説明しました。

研修会の受講者は受講後、HACCP に関する一定の知識を有する食品衛生指導員として県内の食品事業者に対する助言指導を行い、HACCP の考え方を推進していく役割を果たすこととなります。

今後も継続的に研修会を開催し、HACCP の導入を一層推進していきたいと考えます。



〈取組項目：安全に関する自主管理と情報開示の促進〉

〈取組場面：職場〉

## 福祉医療公開講座「介護と食」

一般社団法人愛知県薬剤師会

●実施時期：平成26年10月26日

●対象者：県民

### ●内容

一般県民を対象に、名古屋駅前のウインクあいち大ホールで公開講座を開催しました。

メイン講師に服部幸應氏を招いて、介護に関する食についてご講演いただき、当会常務理事によるシリーズ6回目となる「薬剤師が話す食育の話」を食の機能について分かりやすく解説したスライドを用いて講演しました。

また、栄養のバランスやメタボ対策、食材の分類から考える「薬食同源」について解説したプリント「食育早見表」を配布しました。

### ●活動の成果、今後の課題

「薬と健康の週間（10月17日から23日まで）」に合わせて本会が毎年開催する公開講座で、シリーズ6年目となった「薬剤師が話す食育の話」。

継続して実施することにより、食育に関心を持っていただくことを目標としてきましたが、具体的にどのような成果が得られたかについて今後は検討していきたいです。



〈取組項目：食品と医薬品との相互作用に対する普及啓発〉

〈取組場面：地域〉

## 2 食を通じて豊かな心を育むために



家族や友人と楽しみながら食事をとることや、様々な農作業体験、調理実習といった体験や交流を通じて食に対する理解を深めるとともに、地域に伝わる郷土料理、食事作法等を継承するための取り組みを行いました。

### (1) 食を楽しむゆとりの確保

家庭、学校、職場などで、会話をしながら楽しく食べることは、心のいやし・心の安定をもたらします。このため、家族や友人と食事をとることのできるゆとりの確保に向けた取組を行いました。

## トマトを使った給食

東海市学校給食センター

●実施時期：毎月10日 ●対象者：保育園児、小中学生

### ●内容

東海市では、明治36年からトマトの加工製品が製造されてきたことにちなみ、東海市とカゴメ株式会社が平成26年4月に「トマト de 健康まちづくり協定」を締結しました。市とカゴメが連携して取り組んでいく事業のひとつとして、トマトを使った給食を毎月10日に提供しています。給食メニューにトマトを摂り入れることで、健康増進を図ります。

### ●活動の成果、今後の課題

トマト給食提供日と同日にトマト新聞を学校で配布し、トマト給食メニューの作り方を掲載することで、学校給食だけでなく家庭へのトマト料理の普及を促進します。



〈取組項目：給食や弁当を通じた豊かな人間性の育成〉

〈取組場面：保幼・学校〉

## 「調理員さんありがとう」一緒に食べようふれあい給食

碧南市立大浜幼稚園（愛知県国公立幼稚園長会）

●実施時期：平成26年11月10日 ●対象者：大浜幼稚園児

### ●内容

碧南市の幼稚園は、小中学校と同じように給食センターから配送される給食をいただいています。そして、年に一度、センターの調理員さんと一緒に食べるふれあい給食があります。

「美味しいですか」「好きな献立は何」など話をしながら食べます。年齢差のある子ども達の給食のため、味付けや献立の中味について現場の声に耳を傾けてくださいます。しっかりとおかわりをして食べる喜びを味わうと共に、作ってくださる方々にも感謝の気持ちを持てるようにしています。

### ●活動の成果、今後の課題

子ども達のおかわりに、目を細め「頑張って作らないとね」と微笑んでみえました。子ども達も作ってくださった方の前だといつも以上に残さず食べようという気持ちも生まれ、飽食の時代だからこそ気持ちのつながるふれあい給食は大切な機会だと思います。



〈取組項目：給食や弁当を通じた豊かな人間性の育成〉

〈取組場面：保幼〉

●実施時期：平成26年11月19日 ●対象者：県民

●内容

県では、官民一体となり、働き方の見直しに向けた取組を推進しており、その取組の一環として、毎年11月の第3水曜日を「愛知県内一斉ノー残業デー」と定めています。

平成26年度は、11月19日（水）の当日に金山総合駅を始めとする県内6箇所の主要駅において街頭啓発活動を実施し、通勤する方々に対して、当日の定時退社を呼びかけました。

●活動の成果、今後の課題

朝の通勤時間帯に街頭啓発活動を実施することで、より多くの方に働き方を見直す契機としていただけるよう呼びかけることができました。

また、今年度は啓発活動の実施場所を県内6箇所に増やすことで県内により広く呼びかけることができました。



毎月19日は「おうちごはんの日」



〈取組項目：”おうちごはんの日”の実践促進〉

〈取組場面：地域〉

●実施時期：通年 ●対象者：高齢者中心の多世代

●内容

主に名東区・長久手市に暮らす方を中心に、生涯学習センターや古民家などで参加者とメンバー共同で行う調理・自由な会話を楽しみながらの会食等の交流やワークショップ、人や環境に優しいレシピづくりを実施しています。

孤食や不健康な食生活の改善、多世代間の食を通じたつながりづくりなどを目的としています。高齢者が外出するきっかけや、高齢者が若い世代に知恵を伝える場を創り出すお手伝いをしています。

また活動の一例として、メンバーのゼミ活動「食フェス」での伝統野菜「真菜」の普及や、「長久手環境フェア」で捨ててしまうミカンの皮の活用法なども実施しました。

●活動の成果、今後の課題

地域の方々が普段の食を振り返るきっかけや、学生から高齢者まで幅広い世代のつながりを創ることができました。

今後は①リピーターを増やす②長いスパンで計画性を持った取り組みを心掛けます。これからも知識や技術・コミュニケーション能力などを磨き、より多くの人々のつながりと振り返りの場を提供したいです。



〈取組項目：高齢者の孤食対策等〉

〈取組場面：地域〉



## (2) 体験や交流を通じた食の理解促進

食べることへの感謝の心を育てるため、家庭・地域・学校等において、自ら料理をする機会を増やしたり、作物の栽培や収穫物の調理体験、生産者との交流など、体験や交流を通じた食の理解促進に取り組みました。

### 子育て応援団 チュウキョ〜くんのすこやかフェスタ

公益社団法人愛知県栄養士会

●実施時期：平成26年10月 ●対象者：幼児・小学生と保護者

#### ●内容

日本ガイシホールにて栄養士会会員による「何でも栄養相談」と「野菜当てクイズ」食育劇「元気のチャンピオンだ〜れ」を実施しました。

「野菜当てクイズ」は箱の中の野菜を手で触り名前を当てていただきました。「何でも栄養相談」も合わせて行い、日頃気になっている食に関する疑問や心配事など気楽に相談できるコーナーも作りました。

食育劇「元気のチャンピオンだ〜れ」は、たくさんの親子連れの皆さんに参加していただきました。

#### ●活動の成果、今後の課題

食育劇もクイズもお子様だけではなく、大人の方にも楽しんで頂き、食の見直しのきっかけになったようです。野菜当てということもあり、子供の野菜摂取についての相談等も多く、タイムリーなアドバイスができたと思います。

次回は未就園児に合わせた企画も準備していこうと考えています。



〈取組項目：乳幼児期における食とのふれあい機会の確保〉

〈取組場面：地域〉

### カレーライスプロジェクト

社会福祉法人八開福祉会 丸島保育園

●実施時期：平成26年4月～3月 ●対象者：園児及び保護者

#### ●内容

食を総体的に学ぶための機会として、カレーライスプロジェクトを行いました。その中で体験した活動は下記のとおりです。

- ①じゃがいもと玉ねぎの栽培および収穫をする
- ②カレーライス材料準備（買出し・分量を量る等）をする
- ③カレーに関する絵本・手遊び・集団ゲームをする
- ④親子でカレー作りをする
- ⑤玉ねぎの皮を使った染色をする
- ⑥電車に乗ってお店にカレーライスを食べに出かける

#### ●活動の成果、今後の課題

活用方法に課題があった保育園の観察畑を、子どもたちの保育としっかりと結びつけることができました。

保護者にカレーライス作りへ参加していただくことで、こうした子どもたちの取り組みを、保育園だけで終わるのではなく家庭にもつなげてくれました。

その結果、より広く深い学びになっていったと思います。



〈取組項目：乳幼児期における食とのふれあい機会の確保〉

〈取組場面：地域・保幼〉

## 愛西市アグリぐるぐるスクール

愛西市農畜産業振興会

●実施時期：平成26年6月27日、7月2日、7月3日、9月30日

●対象者：市内小学5年生

### ●内容

愛西市農畜産業振興会で作成した、食育本「愛西市アグリぐるぐるスクール」を教材とし、農業の重要性、役割の説明、「愛西市ぐるぐる農産物」の試食、地産地消の重要性を出前授業形式で市内各小学校5年生に対して実施しました。

小学5年生はちょうど農業の学習を始めたところで、食育本の活用と、わかりやすい掲示を活用し、内容の理解を深めていただくことができました。



### ●活動の成果、今後の課題

各校とも大変好評であり、「毎年実施」の依頼もいただきました。



〈取組項目：少年期における食に関する体験等の充実〉

〈取組場面：地域・学校〉

## 小学生とお父さんのためのいいとも半田！料理教室

半田市食生活改善推進員連絡協議会

●実施時期：平成26年11月29日

●対象者：半田市在住・在勤者

### ●内容

日頃、接することができない父と子のコミュニケーションの場を提供するとともに、愛知の魚について紹介を行い、魚の普及と地産地消の推進を図ることを目的に料理教室等を実施しました。

今回は、愛知で捕れる魚の紹介、ちりめんの勉強、うなぎの勉強（開きと実演）、料理教室（海の幸ちらし寿司クリスマス風、煮干しのみそ汁、ミルク寒天）を行いました。

### ●活動の成果、今後の課題

父子16組（合計33人）の参加がありました。参加者からは、親子で楽しい時間を過ごすことができ、調理実習を通して、普段とれない父と子のコミュニケーションが取れたと好評でした。

内容が盛り沢山だったので、当日のみでは、スタッフ間で情報を共有することが難しかったです。

今後の課題はスタッフの事前の密な打ち合わせが必要だと感じました。



〈取組項目：少年期における食に関する体験等の充実〉

〈取組場面：地域〉



●実施時期：平成 26 年 6 月 7 日～11 月 29 日

●対象者：中学卒業後～39 歳

●内容

若い世代の野菜離れ改善を目的に、田植え、稲刈り、キャベツの定植、キャベツの収穫などの農業体験を行いました。

またシェフ、野菜ソムリエ、管理栄養士が収穫野菜や地元野菜を使った調理実習も行いました。



●活動の成果、今後の課題

農業体験は作業の大変さや体を動かす楽しさが体験できました。

参加者からは農業に関心を持った、野菜を大事に食べたいなどの感想をいただきました。

若い世代の課題である朝食の欠食や野菜不足を踏まえ、朝食の必要性や日頃の食事でもっと野菜を取り入れるよう講義を行い、野菜たっぷりメニューの調理実習を行い、野菜への関心を深めることが出来ました。

しかし食生活の改善までには至っておらず、参加後に朝食の摂取や野菜の摂取を増やすことが課題です。



〈取組項目：幅広い層に向けた体験・交流の機会の提供〉

〈取組場面：地域〉

地引網体験ツアー

●実施時期：平成 26 年 9 月 21 日

●対象者：市内在住の子と保護者

●内容

市内在住の子と保護者 16 組 51 名が参加し、東幡豆町において地引網体験と干潟観察会、マテ貝捕りとバーベキューを実施しました。

普段体験のできない地引網やマテ貝捕り、干潟観察会を通じて、東幡豆の自然に触れ、魚貝類に興味を持っていただき、生きているものをいただく感謝の気持ちを理解してもらうことを目的としています。

●活動の成果、今後の課題

西尾市の魅力を再確認いただき、子どもたちの魚貝に対する興味を引き出し、自分で獲った魚をさばくことで、命あるものをいただく感謝の心を養い、普段魚を食べることが少なくなった食生活を見直すことができたいい機会になったと思います。



〈取組項目：幅広い層に向けた体験・交流の機会の提供〉

〈取組場面：地域〉

### (3) 食文化や食事作法等の理解と継承

伝統料理などの地域の食文化への理解を促進し、継承に取り組むとともに、食物アレルギーへの理解、食事作法や所作の学びについても取り組みました。

#### こどもの健康教室

春日井市

●実施時期：平成26年7月23～25日

●対象者：小学生とその保護者

#### ●内容

栄養の知識や運動の大切さを普及することにより、望ましい生活習慣を身に付け、子どもの健やかな成長や発育を促すことを目的に取り組みました。

内容は、箸の正しい使い方を啓発する「豆つかみゲーム」や、よく噛むことの大切さを伝える「エプロンシアター」等の“食事編”とゲームをしながら親子で体を動かす“運動編”で、どちらも親子で楽しく学べるように工夫しました。

単発の教室で、3会場で行い、参加者は合計30組でした。



#### ●活動の成果、今後の課題

保護者のアンケートで、“望ましい生活習慣を身に付ける参考になったか”との問いには30人中28人が“なった”との回答がありました。

子ども達には、学んだことを踏まえて食と運動についての夏休みの目標を決めてもらい、保護者と共有してもらいました。

望ましい生活習慣を身に付けるきっかけになったと思います。



〈取組項目：子どもに対する食事作法の習得や食の多様性の理解〉

〈取組場面：地域〉

#### 誕生会のおやつはお楽しみ

知多市立梅が丘幼稚園（愛知県国公立幼稚園長会）

●実施時期：通年

●対象者：園児

#### ●内容

梅が丘幼稚園には食物アレルギーをもつお子さんが数人在籍しています。誕生会の日に出るおやつは特別な日のお楽しみだからと、菓子店の方が見た目もできる限り似せて作ってくださいます。

それでもみんなと同じものが食べられず、普段は我慢することが多いアレルギー児も「みんなと同じで嬉しいね」という気持ちが味わえるように、アレルギー児の誕生月のおやつは、みんなと同じものが食べられるようにおやつを工夫しています。



#### ●活動の成果、今後の課題

自分の誕生月だけでも周りの子と同じものが食べられるのは、子どもにとっても嬉しく、笑顔で誕生会を迎えることができます。

周りの子も「同じだね、よかったね」と声をかけるなど、普段違うものを食べている友達を気にかける優しい気持ちの育ちを感じるようになりました。

〈取組項目：子どもに対する食事作法の習得や食の多様性の理解〉

〈取組場面：保幼〉

●実施時期：平成 27 年 1 月 8 日、9 日、21 日、28 日

●対象者：市内小中学生

### ●内容

次郎柿の日本一の産地である豊橋市では、初めて次郎柿が結実して 100 年を迎えたことを記念して、市内小中学校 74 校の給食に「柿パン」を提供しました。

柿パンは、本年度収穫された次郎柿をドライチップにして生地に練り込んだもので、給食パンを作っている主食炊飯業者 5 社と共同開発することで実現しました。

### ●活動の成果、今後の課題

100 周年をきっかけに日本一の次郎柿産地であることを PR し、小中学生の地産地消の意識を高めることができました。

また、ポットに入った柿の木を借り受けた学校では、学校内で栽培、収穫体験を行い、生産・消費の両面から地元農業の理解を深めることができました。



〈取組項目：給食における地場産物や郷土料理等の導入促進〉

〈取組場面：学校〉

## ふれあい給食「愛知を食べる学校給食の日」

尾張旭市学校給食センター

●実施時期：平成 26 年 6 月

●対象者：小学生、中学生

### ●内容

「愛知を食べる学校給食の日」にちなみ、ふれあい給食を実施（6 月 17 日）しました。

今年度は、学校給食の野菜の生産者が東栄小学校 5 年生の児童と一緒に給食を楽しみました。

各校では、地産地消を啓発するため、市内でとれたお米から作ったクレープや県内産の食材を PR するポスターを張り、校内放送で伝えたりしました。



### ●活動の成果、今後の課題

学校給食に地域の農産物を使用する事により、地域の農産物や食文化に理解を深め、より豊かな食生活と意欲を高める機会となりました。

〈取組項目：給食における地場産物や郷土料理等の導入促進〉

〈取組場面：学校〉

●実施時期：平成 26 年 8 月 29 日      ●対象者：市内に住む小学生 16 名

●内容

- ・押し寿司の話、押し寿司、ケーキ寿司の作り方の説明  
(ヘルスメイト宅にある押し寿司セットと鍋を使用)
- ・箸、茶碗の持ち方
- ・煮干しだしの取り方
- ・野菜選びと調理  
(ヘルスメイト宅で採れた野菜を自由に選んで調理した)
- ・栄養のバランスについて  
(保健センター栄養士の講話)
- ・紙芝居「もぐもぐあさごはん」
- ・配布資料「愛知の食育」を使つての講話
- ・アンケート(内容：朝食や野菜の摂取等)



●活動の成果、今後の課題

子ども自身で好きな野菜を選び、調理したことは満足だった様子。中には苦手な野菜を食べられた子もいました。  
アンケートから、毎日朝食を食べる子どもは 67%、朝食に毎日野菜を食べる子どもは 7%であることがわかりました。  
今後は朝食の必要性と野菜摂取について伝える必要があります。



〈取組項目：伝統料理、郷土料理等の提供促進と継承〉

〈取組場面：地域〉

# 弥富市4Hクラブ もちつき会

●実施時期：平成26年12月      ●対象者：保育園児

●内容

弥富市4Hクラブでは、毎年12月に市内の保育所を2か所回り、日本の伝統行事である「もちつき」を体験していただく取組を行なっています。  
農業の担い手として、食にかかわる伝統行事を地域の園児に知ってもらい、同時に地域と交流も深めることが目的です。  
弥富の若手の農業者のメンバーで構成された団体で、農業経営に関する情報交換および行事の実施により、ゆくゆくは後継者として必要なスキル、経営思考を学んでいます。

●活動の成果、今後の課題

地域の園児に、もち米がおもちになる過程を実際に見て、触って、食べて実感する楽しさと、みんなで協力することにより、人間関係を育むことができるすばらしさを学んでいただくことができました。  
また、地元産の野菜を使ったトッピングで、園児からは「おいしい」といった声がありました。



〈取組項目：伝統料理、郷土料理等の提供促進と継承〉

〈取組場面：地域〉

### 3 食を通じて環境に優しい暮らしを築くために



食べ残しや、農林水産業への理解と地域でとれる農林水産物を積極的に消費する地産地消を進めるなど、環境に配慮した食生活の推進に取り組みました。

#### (1) 食生活における「もったいない」意識の浸透と実践

食生活における環境への負荷の軽減のため、「もったいない」意識の浸透を図り、環境に優しい料理の実践促進に取り組みました。

### 「もったいないばあさんがこないよ大作戦！」

安城市立安城幼稚園（愛知県国公立幼稚園長会）

●実施時期：平成26年6～7月

●対象者：3歳児

#### ●内容

絵本「もったいないばあさんがくるよ」を見たり、もったいないばあさん音頭を踊ったりして「お皿の上の食べ残し」「茶碗についたご飯粒」の内容が楽しく身につくようにしました。

また、個々に合った分量を配膳することで全部食べることができた満足感が味わえるようにし、お皿を空っぽにすることに喜びが感じられるようにしました。

#### ●活動の成果、今後の課題

空っぽになったお皿を嬉しそうに見せる姿が見られるようになりました。

また、少量でも残さず食べる経験を重ねたことにより、一人一人の食べる量が徐々に増え、食べ残しが減ることにつながりました。



〈取組項目：子どもに対する環境負荷軽減の学習〉

〈取組場面：保幼〉

### さつま汁パーティー

知多市立東部幼稚園（愛知県国公立幼稚園長会）

●実施時期：平成26年11月

●対象者：幼稚園児

#### ●内容

知多市立東部幼稚園では、年長児が収穫したさつま芋を使いさつま汁を作ります。年長児が自ら考えた食材をお店に買いに行き、机に並べ見たり触ったりと食材への関心につなげたり、当日出た野菜の皮は捨てずに飼育うさぎの餌にしています。

だしの香りが広がる遊戯室では、お椀の中を覗き込み「これってごぼうかな」「さつま芋って甘いね」と食材に興味をもちながら「きれいに食べよう」と食べ残さないように意識して食べていました。

#### ●活動の成果、今後の課題

普段は食べ慣れたお家の人の手作り弁当を食べています。いろいろな食材に関心が持てる機会となるように、みんなで育てたさつま芋やお店で買ってきた食材をとりいれました。

野菜の苦手な子ども「食べたらおいしかった」「買ってきたねぎが入っていた」と言葉を交わしながら残さず食べる姿につながりました。



〈取組項目：子どもに対する環境負荷軽減の学習〉

〈取組場面：保幼〉

●実施時期：平成26年6月28日

●対象者：市内在住小学生以上の親子

## ●内容

エコ・クッキングとは環境のことを考えて買い物、料理、片付けをすることです。講座ではエコ・クッキングのポイントを紹介しながら実際に料理や片付けをしていただくことで、環境問題についての意識を図り、毎日の生活で実践してもらうことを目的としています。

※エコ・クッキングは東京ガス（株）の登録商標です。

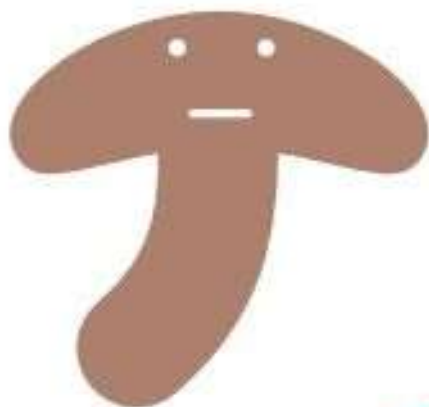


## ●活動の成果、今後の課題

食材を丸ごと使うことや、食器の洗い方等のエコ・クッキングのポイントを参加者が学ぶことができ、今後の生活に活かしていただけたと思います。

〈取組項目：環境に配慮した食生活の実践〉

〈取組場面：地域〉



## (2) 農林水産業への理解と地産地消の一層の推進

農林水産業が持つ多面的な役割などの正しい理解と身近な農林水産物の消費や利用を促進するため、学校や地域などで県内産農林水産物の積極的な利用促進に取り組みました。

### JAあいち中央榎前環境保全会生きもの観察会

生活協同組合コープあいち

●実施時期：平成26年7月6日

●対象者：コープあいち組合員

#### ●内容

JAあいち中央管内の榎前環境保全会が管理している水田では、全国的にも珍しい用水路と水田を結ぶ「水田魚道」を設置しています。これによりドジョウ、ヨシノボリ、フナ、メダカ等が復活しました。

環境保全会は化学合成農薬や化学肥料を削減し、水田魚道を設置した環境や生態系に配慮した農業を実践しており、その効果が田んぼに生息する生き物に見られています。

参加者が田んぼで虫や生きものを見つけ、環境に配慮した農業について学びました。

#### ●活動の成果、今後の課題

化学合成農薬や化学肥料等を削減し、生態系に配慮した農業を実践している生産者の皆さんとの交流により、どのようにお米が育まれているかを学ぶことで田んぼの大切な役割を学ぶことができました。



(取組項目：生物多様性の保全など農林水産業の役割への理解促進)

(取組場面：地域)

### 「魚食の伝道師」派遣による出前授業

愛知県

●実施時期：平成26年7月～27年2月

●対象者：小学生等

#### ●内容

県では、子ども達に魚食の大切さや漁業のすばらしさ、役割などを伝える「魚食の伝道師派遣事業」を24年度から実施しています。

漁業者の方と県職員を、小学校等の授業に「魚食の伝道師」として派遣し、生きた水産物の観察や触れる体験、愛知県でとれる水産物や愛知県の漁業に関する授業を通じて、子ども達の漁業や水産物への理解促進を図りました。

平成26年度は10ヶ所で実施し、635名の参加がありました。

#### ●活動の成果、今後の課題

子ども達からは、「本物の魚を見られて、触れて良かった。漁業の大変さやありがたさが分かった。」などの感想が寄せられました。

今後もこの取組を継続していく必要性を感じました。



(取組項目：子どもに対する地産地消の理解と利用の促進)

(取組場面：学校)

●実施時期：平成26年6月

●対象者：児童生徒

## ●内容

6月の食育の日の前に、給食委員会の児童生徒が、町内の生産者の畑を見学して話を聞かせていただいています。畑見学の内容や感想を、たよりや掲示物、給食放送等で全校に知らせています。

また、食育の日には、生産者と児童の会食を実施し、野菜についての話を聞いたり、質問に答えていただいたりしています。

## ●活動の成果、今後の課題

生産者の方から直接話を聞くことで、児童生徒が地元の野菜や生産者を身近に感じることができています。

継続して実施し、全校で紹介することで「地産地消」という言葉が定着してきました。より多くの児童生徒が直接生産者と関わることができる機会を設けることが今後の課題です。



〈取組項目：子どもに対する地産地消の理解と利用の促進〉

〈取組場面：学校〉

●実施時期：平成26年12月18日

●対象者：市内在住在勤者

## ●内容

市内在住、在勤の50名が参加し、西尾市歴史公園内、尚古荘において地元食材を使った懐石料理を食べながら、作法、料理法を学びました。食事後は、西尾の特産物である抹茶をいただきました。

## ●活動の成果、今後の課題

料理を作る講座は多いですが、作法などは勉強する機会が少ないため、参加者からは大変参考になったとの感想がありました。

また、西尾市歴史公園内にある、昭和初期に造られた、この地方では珍しい京風庭園である「尚古荘」を知っていただけたのも良かったです。



〈取組項目：青年期以降における地産地消の実践〉

〈取組場面：地域〉



●実施時期：平成27年 2月      ●対象者：大学生

## ●内容

大学で食について学んでいる学生を対象とし、学生にとってなじみの薄いファーマーズマーケット（以下FM）を見学してもらいました。（今回は大府市の「グリーンプラザおおぶ」と安城市の「でんまあと安城西部」を見学）。

また、タマネギほ場・ニンジンほ場に出向いて収穫・食味体験をし、採れたての新鮮な農産物の魅力を感じてもらうことができました。

当日の様子は、本会が発行する農産物直売所情報誌「フレ」2015年春夏号および秋冬号に掲載します。



## ●活動の成果、今後の課題

半数以上の学生がFMで買い物をした経験が無く、新鮮な地元農産物が安価で購入できることや、商品に生産者の名前が書いてあり安心・安全な農産物等、FMの魅力を知ってもらう良い機会となりました。

また、普段はあまり見られない生産現場で、農産物がどのように育てられているかを知ってもらうことができました。



〈取組項目：青年期以降における地産地消の実践〉

〈取組場面：地域〉

# 食農教育推進事業

豊橋田原広域農業推進会議（豊橋市・田原市・J A豊橋・J A愛知みなみ）

●実施時期：平成27年 2月11日      ●対象者：中学生以下の子どもと保護者

## ●内容

豊橋市・田原市・J A豊橋・J A愛知みなみで構成される豊橋田原広域農業推進会議では、食農教育を推進するため親子収穫体験ツアーや食農教育フォーラム、花育×ツアーなど各種イベントを開催しています。

平成27年2月に開催した「親子収穫体験ツアー」には57名の親子が参加し、J A豊橋のトマト選果場の見学と高糖度ミニトマト「美」の収穫を体験していただきました。



## ●活動の成果、今後の課題

普段は一般の方に開放していない選果場やミニトマトのハウスをご覧いただくことで、全国トップクラスの産地の魅力を感じていただくとともに、地産地消への意識を高めることができました。

今後も、このような体験事業を進めていきたいと思えます。



〈取組項目：生産者と消費者の思いを伝える農林水産業の実現〉

〈取組場面：地域〉

### (3) 農林水産業や食品産業における環境への配慮の徹底

農林水産業における化学肥料や化学合成農薬の低減や資源循環の推進、食品産業における食品リサイクルの推進など、生産・流通する側も「もったいない」意識を持って環境への配慮に取り組みました。

## GAP（農業生産工程管理）手法の導入などによる環境に配慮した取組

愛知県

●実施時期：通年      ●対象者：JAあいち中央碧南人参部会

#### ●内容

ニンジン生産者の出荷組織であるJAあいち中央碧南人参部会では、平成21年作から環境への配慮と生産物の安全と安心の確保に向けた作業工程の管理のため、GAP手法を導入しています。

生産者はGAPチェックシートに記帳することで自らの取り組みを振り返り、改善すべき点を明らかにできます。

平成26年度は国のガイドラインに合わせたチェック項目の見直しを支援しました。



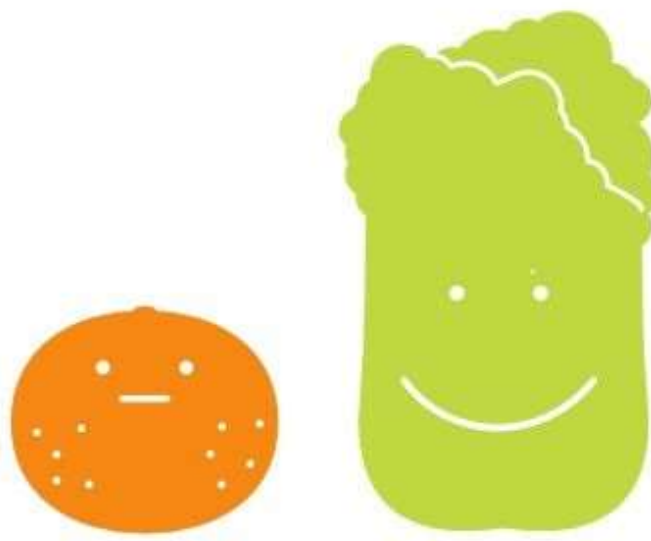
#### ●活動の成果、今後の課題

GAPの導入により、生産者自らが作業工程を振り返り、問題点を把握することができました。

今後は、PDCAサイクルによる自主改善活動を定着させることが課題です。

〈取組項目：農林水産業における環境への配慮とバイオマスの利活用〉

〈取組場面：地域〉



## 4 食育を支える取組



食育を効果的に推進するため、市町村を始めとする関係者との連携を図りつつ、「食育にかかる人材の育成と活動の充実」、「関係者の役割分担とネットワークの充実」及び「いいともあいち運動の推進」について取り組みました。

### (1) 食育にかかる人材の育成と活動の充実

県民一人ひとりの主体的な取組がより効果的なものとなるよう、その取組を支援する人材の育成と活動の充実に取り組みました。

## 愛知の郷土料理講習会

公益財団法人愛知県学校給食会

●実施時期：平成26年8月5日

●対象者：栄養教諭・学校栄養職員

### ●内容

愛知県の温暖な気候風土で育まれた農作物を利用し、地域の味として古くから守り食されてきた郷土料理は、学校給食を通じて次世代を担う子どもたちに伝えたい郷土の食文化です。栄養教諭・学校栄養職員の方々に伝統的な郷土の食文化に触れる機会を提供し、児童生徒の健全な食習慣の形成に資することを目的に実施しました。参加人数は43名で、調理実習と講義を行いました。

詳細については、当財団ホームページをご覧ください。

<http://aigaku.org/>

### ●活動の成果、今後の課題

調理実習や講義を通して郷土料理への理解が深まり、栄養教諭・学校栄養職員としての資質の向上に資することができました。今後、学校給食の献立に取りいれたり、学校での食育指導に役立つ講習会となりました。



〈取組項目：保育・教育機関における推進体制の充実〉

〈取組場面：学校〉

## 食育講演会

愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会

●実施時期：平成26年8月20日

●対象者：愛知県内栄養教諭および学校栄養職員・学校給食関係者・愛知県食育推進会議構成団体

### ●内容

本協議会は、平成26年8月20日ウィルあいちで行った「平成26年度愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究大会」において、「食育講演会」を開催しました。今年度は独立行政法人相模原病院より林典子先生を講師に招き、食物アレルギーについて最新の情報や対応方法についてお話を聞くことができました。本協議会会員、食育推進会議構成団体の他、幼稚園関係者の方など、390名の参加がありました。

### ●活動の成果、今後の課題

学校給食を始め食に関わる立場として、安全に食事を提供するために必要な知識を得ることができました。



〈取組項目：社会人を対象とした推進体制の充実〉

〈取組場面：学校・地域〉

## 愛知県食育推進ボランティアの登録

岩倉市、岩倉市食生活改善推進員

●実施時期：平成 26 年 8 月      ●対象者：食生活改善推進員

### ●内容

これまでも外部団体等開催の研修会も含めて色々な情報を伝えてきましたが、今年度は食生活改善推進員が新聞に掲載された「愛知県食育推進ボランティア」の活動等紹介記事を見て関心を持ち、推進員全員の意思を確認し、今年度登録に至りました。



### ●活動の成果、今後の課題

登録証を普段使っている名札に入れ、岩倉市だけではなく、愛知県の食育推進に携わるという意欲を高め、栄養教室の開催や学習にも励んでいます。



〈取組項目：愛知県食育推進ボランティアの育成と活動の充実〉

〈取組場面：地域〉

## 輝きネット・あいち技人認定式及び研修会

農村輝きネット・あいち

●実施時期：平成 26 年 8 月 22 日      ●対象者：輝きネット・あいちの技人認定者及び農村輝きネット・あいち会員

### ●内容

平成 15 年度から、これまでのグループ活動で培い、優れた農業及び暮らしの技術を持ち伝承できるネット会員を「輝きネット・あいちの技人」として認定しています。

平成 26 年度は、8 月 22 日に 12 回目となる認定式を愛知県西三河総合庁舎で開催し、新たに 11 名を認定しました。

認定式後には、(株)げんきの郷フードコーディネーターの高木幹夫氏を講師に招き、「ストーリーづくりから生まれる食の楽しみ」と題して、研修会が行われました。



### ●活動の成果、今後の課題

輝きネット・あいちの技人の認定者数は 235 名になり、地域住民や小・中学校の子どもたちに対して、地域の農業や伝統料理などを教えるなど地域に根ざした活動をしています。

今後も技人の活躍を期待し、認定していきます。



〈取組項目：食育に係る多様な人材の育成と活動の促進〉

〈取組場面：地域〉

## 「子どもに食べてほしいおむすび」レシピ募集

高浜市子ども食育推進協議会

●実施時期：平成26年6月～11月

●対象者：カワラッキーフレンズ

### ●内容

食育月間に、子どもが食事を自分で作って食べるきっかけ作りとして、「子どもに食べてほしいおむすび」レシピをカワラッキーフレンズから募集しました。

「鬼みちまつり」で市民に投票してもらい、1位となったおむすびを「JAあいち中央高浜地区農業まつり」で行う「おむすび体験教室」で、高浜市食育ボランティアが親子に作って食べてもらいました。

※カワラッキーフレンズ

：市の食育の啓発・推進に協力・賛同する団体、事業者等



### ●活動の成果、今後の課題

単独で活動するのは難しいが、食育協力への思いをもってくださっている事業者等に少しの負担でできる食育活動として、参加していただくことができました。

今後も、食に直接関係しない事業者等に食育活動の場を提供できるよう工夫していきたいと思えます。



〈取組項目：食育に係る多様な人材の育成と活動の促進〉

〈取組場面：地域〉

## 食育教材の開発（プレゼンテーション資料）

愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会

●実施時期：平成26年

●対象者：愛知県内栄養教諭・学校栄養職員研究協議会会員

### ●内容

給食試食会などで栄養教諭・学校栄養職員が、保護者や地域の方に子どもの食生活や学校給食の意義についてお話をする機会が多くあります。

そこで、データや写真などを入れて、見やすくわかりやすいプレゼンテーション資料を作成しました。

今年度のテーマは「朝食について」「学校給食の歴史」です。

実態を知ってもらうために、グラフ等は学校の調査結果を入れられるように工夫しました。

### ●活動の成果、今後の課題

本協議会では毎年、食育指導のための教材開発に取り組んでいます。

今年度は対象を保護者や地域の方々として、皆さんが活用できる教材を作成することができました。

児童生徒がより良い食生活を実践できるよう、家庭や地域との連携を深める教材について、今後も研究したいと考えています。



〈取組項目：食育推進資料の作成や調査・検定の実施〉

〈取組場面：学校〉

## (2) 関係者の役割分担とネットワークの充実

地域に根ざした食育を効果的に推進するため、多様な関係者が各々の強みを活かし役割分担した上で、相互に連携して活動に取り組みました。

### 地域食育推進支援会議の開催

愛知県

●実施時期：平成26年8月5日他 ●対象者：市町村、企業、地域の食育関係者等

#### ●内容

愛知県では、市町村、関係団体、学校関係者、食育推進ボランティア等からなる地域食育推進支援会議を開催し、地域における食育の関係者の連携を促進しています。

平成26年度は、尾張農林水産事務所始め7事務所で開催し、地域における食育推進の取組状況や今後の取組について話し合いを行いました。

また、地域ボランティア連携企画として、食育推進支援会議の参加者が連携して食育啓発活動を行いました。

#### ●活動の成果、今後の課題

食育の実践を促進するためには、多様な関係者の連携や協力を図りつつ、その地域の実情に応じた取組を行うことが効果的です。

今後も、地域食育推進支援会議を通して地域の多様な関係者が連携するきっかけを作っていきたいと考えています。



〈取組項目：地域食育推進支援会議の開催〉

〈取組場面：地域〉

### 連携して実施 みんなで楽しく食育を学ぼう！

愛知県

●実施時期：平成26年11月16、29日 ●対象者：県民

#### ●内容

愛知県では、県民の皆さんに食の大切さを知ってもらい、食育の実践を促すため、県内各地で食育推進活動を行っています。

平成26年11月には、名古屋市中央卸売市場の「ふれあい市場まつり」において、管理栄養士による栄養相談や、食育推進ボランティアによる粉あてクイズ等を実施しました。

また、イオン新瑞橋店の「いいともあいちフェア」において、野菜ソムリエによるトークショー、野菜350gを当てるクイズ等を行いました。

#### ●活動の成果、今後の課題

どちらのイベントも家族連れなど大勢の方に参加していただきました。

専門知識や経験を持つ活動者と連携することで、活動内容に深みが増し、参加者の方にも食生活や県産農林水産物についての正しい知識を伝え、家庭での実践を促すことができました。

今後も、多様な人材と連携した取組を進めていきたいと思ひます。



〈取組項目：地域の活動主体同士の連携企画の促進〉

〈取組場面：地域〉

●実施時期：通年      ●対象者：県民

●内容

愛知県では、平成 25 年度にお魚料理の初心者向けに『あいちのおさかなコンシェルジュ』の web サイトを立ち上げ、簡単レシピや栄養などの情報発信を行っています。

平成 26 年度は、当該 web サイトと連携させた、facebook に力を入れ、愛知県の水産業や魚食に係る情報発信を行っています。

web サイト→<http://www.pref.aichi.jp/suisan/osakana/index.html>

facebook→<https://www.facebook.com/aichiosakana>

●活動の成果、今後の課題

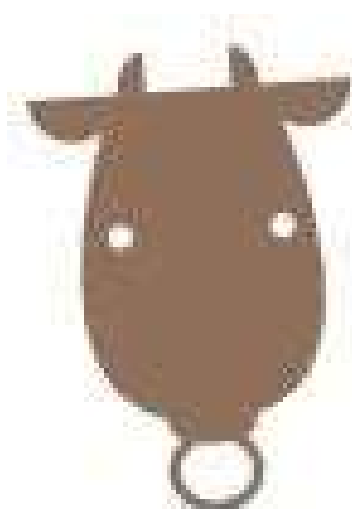
平成 26 年度の facebook への投稿記事は 120 を超えることができました。

今後も、この取組を継続実施し、愛知県の水産業や魚食に関連する情報発信を行っていきます。



〈取組項目：食育に関する情報発信の充実〉

〈取組場面：地域〉



### (3) いいともあいち運動の推進

県内の消費者と生産者が相互理解や交流を深めたり、地産地消をすすめることで、県民のみんなで県の農林水産業を支えていこうという、いいともあいち運動の推進に取り組みました。

#### いいともあいち運動シンボルマークの貼付促進

愛知県

●実施時期：通年 ●対象者：県民

##### ●内容

愛知県版地産地消の取組である「いいともあいち運動」を広く県民の方々にアピールしていくため、いいともあいちネットワーク会員に対して、県産農林水産物を使った商品パッケージや梱包用の段ボール、包装紙などへ、運動のシンボルマークを貼付する取組を推進しました。

また、県のwebページ「いいともあいち情報広場」にシンボルマーク商品情報を掲載し、シンボルマークを表示した商品について、広く県民にPRしました。

##### ●活動の成果、今後の課題

平成25年度までに使用された408商品に加え、26年度は、県産小麦「きぬあかり」と県産あさりを使用したうどんや県産トマトを使用したトマトピューレーなど、新たに41商品にシンボルマークが使用されました。

今後も、シンボルマークの貼付を通して、いいともあいち運動の認知度向上に努めていきます。



〈取組項目：運動の認知度の向上〉

〈取組場面：地域〉

#### 6次産業化・地産地消ビジネスフェアの開催

愛知県

●実施時期：平成27年2月 ●対象者：地産地消に取り組む事業者

##### ●内容

農林漁業者や食品製造事業者などが、県産農林水産物やその加工品を展示し、流通関係者等との商談や参加者相互の情報交換を行い、新商品の開発や新たな販路の開拓に取り組む「6次産業化・地産地消ビジネスフェア」を、平成27年2月2日（月）に名古屋市中区のアイリス愛知で開催しました。

フェアには、72の企業・団体が出展し、会場は506名の参加者でにぎわいました。また、11企業が自社の取組や商品の紹介を行うプレゼンテーションを行いました。

##### ●活動の成果、今後の課題

フェアの開催に当たっては、効果的な商談につながるよう事前に出展者と参加者に商談先の意向を聞き、その情報を提供しており、各ブースにおいて、熱心に情報交換や商談が行われました。

その結果、平成27年2月末時点での商談件数は235件で、そのうち取引開始は11件となっています。



〈取組項目：協働活動の充実〉

〈取組場面：地域〉



●実施時期：平成26年6月、10月、11月 ●対象者：市民

●内容

岡崎市内産の特産品や野菜などの食材を使った、地産地消弁当「岡弁」に詰める料理のレシピを市内の小中学生及び高校生を中心に募集を行いました。

そして、応募のあったレシピを岡弁としてお店のメニューや仕出し弁当として提供する飲食店を募集し、食育月間の食育の日である6月19日を始めとする4日間に岡弁の販売を行いました。

●活動の成果、今後の課題

岡弁を次のとおり飲食店で販売しました。

6月19日（一部19日以外有）：お店12店、弁当3店（計15種類）

10月19日：お店1店、弁当2店（計3種類）

11月15日：弁当2店（計3種類）

11月16日：弁当1店（1種類）

現在、市からの呼びかけで岡弁を販売する機会を作っているが、市が旗振りをしなくても店側が自主的に岡弁として販売していく店舗が増えないこと、市民の認知度がまだ低いことが課題です。



（取組項目：県産農林水産物の利用拡大）

（取組場面：地域）

●実施時期：平成26年11月 ●対象者：市民

●内容

「野菜を食べよう！おいしい簡単レシピコンテスト」の優秀レシピを掲載したリーフレットを作成し、愛知県内のショッピングセンター アピタ・ピアゴで11月13日～16日に開催された「いいともあいちフェア」において配布しました。

また11月15日にはアピタ代表店舗15店舗においてレシピの試食を行いました。そこでは愛知県の野菜や1日の野菜摂取量の紹介、「いいともあいち運動」のPRを行い、愛知県の野菜摂取量の向上に努めました。

企業団ホームページアドレス <http://aichishokuiku-support.info>

●活動の成果、今後の課題

店舗に来店する多くのお客様に試食をしていただくなかで、愛知県の野菜と1日の野菜摂取量について広く知っていただくことが出来ました。

今後はより深く、多くのお客様へ伝えられるようにしていきたいと考えています。



（取組項目：県産農林水産物の利用拡大）

（取組場面：地域）



Aichi Food Education Report  
2015

